



## 田中ひさやは実現をめざします。



田中ひさや候補予定者のキャッチフレーズは「働くみんなの力になりたい」。ものづくり、ひとづくり、くにづくりを柱にした政策で、すべての人が切り捨てられることなく安心して働き、安心して暮らせる世の中をめざしています。

### 将来に安心できる社会保障へ

#### 1. 中長期的な財政の健全化と社会保障制度の充実

- ・財政再建は増税や一律的な歳出削減による財政赤字削減のみを先行させるのではなく、本格的な人口減少・超少子高齢社会に突入することを前提にした社会保障安定・充実のための財源確保と中長期的な財政健全化を強く意識した財政構造の抜本改革を実施する。
- ・雇用創出・安定化、社会保障制度の改革による生活・将来不安の解消、地域活性化・中小企業支援策等の政策に重点を置き、内需主導による自律的な経済成長を実現する。

#### 2. 企業の社会的責任に見合った税負担の実現

- ・法人税率の引き下げを行う場合、引き下げ分が企業における国内投資や雇用・所得の拡大に充てられること、および代替財源の確保を大前提とする。

#### 3. 所得再配分機能を高めるため社会保障と税の一括改革を着実に推進

- ・特定支出控除は、給与所得者の必要経費の実情に合わせて、自動車関係費・能力開発費の費用や労働組合費等を対象項目として追加・拡大する。

#### 4. 保険料控除の拡充

- ・国民が将来に備えた社会保障でカバーできない部分の自助努力に対して、税制での支援を積極的に拡充・改善する。遺族、年金、医療、介護、地震の保証にかかる各種保険控除の拡充をはかる。

#### 5. 防災性が優れた人が中心の街づくりの実現

- ・一定期間が経過した橋梁、交通施設、上下水道施設、交通安全施設などについて老朽化対策を行い、破損やそれに伴う事故を未然に防ぐ。

# 何が何でも政治の流れを変えよう 院内集会と力合わせの集会で意志固め

## 統一地方選と参議院選挙で全ての推薦候補の当選へ

退職者連合は2月13・14日にわたって都内で「高齢者が安心して暮らしていくためには何としても政治の流れを変え、安倍首相を退陣に追い込もう」と力合わせの集会を開いた。13日は「ルポール麹町」で「政治を変える2・13力合わせの集い」を開催、14日には参議院議員会館で、通常国会政策制度要求実現2・14院内集会を開催し、4月の統一地方選挙と7月の参議院選挙に臨む意思を固めた。

### 14日の政策制度要求 実現2・14院内集会に はJAMシニアから本 部・東京・千葉・埼玉・

神奈川シニアの仲間9  
名が参加。会場は産別  
や関係する退職者組織  
と地方退職者連合、関

東プロックなどから3  
00人を超える参加者  
で熱気に包まれていた。  
冒頭、主催者を代表

して退職者連合人見会  
長は「高齢者が安心し  
て暮らしていくために  
は給付の切り下げや負  
担増など社会保障制度  
をこれ以上後退させて  
はならない。何として  
も参議院選挙に勝つ  
政治の流れを変え、安  
倍首相を退陣に追い込  
まなければならない」



## 統一地方選から参議院選 へ大きな流れをつくろう！

統一地方選挙が目前に迫っています。投票日は前半戦の道府県と政令市の首長、議員選挙が4月7日。後半戦はその他の市区町村の首長、議員選挙は4月21日に実施されます。

地方JAMと連携し推薦候補者全員の当選をめざしてシニアクラブ会員の皆さんのご協力をお願いします。

前半戦 投票日：4月7日

後半戦 投票日：4月21日

また連合の南部美智代副事務局長は報道されており毎勤統計不正問題の国会審議にふれ、「今世紀に入り最高の賃上げとなり着実に改善している」とする連合総括を引用した安倍首相の（裏面へ）↓

いくための10項目の春  
要求を前進させるよう  
退職者連合の力を發揮  
していこう」と参加者  
に訴えた。

と檄を飛ばし、来賓席  
に揃った野党3党の代  
表者に対して「そのため  
には野党が大きなか  
たまりになることが重  
要だ」と明言。選舉区  
で共に闘うべき候補が  
未だ決まっていない野  
党並闘の状況に「カツ！」  
を入れ、野党の大同団  
結を強く求めた。その  
うえで「持続可能な社  
会保障制度をつくって  
いる」と参加者に訴えた。

## 田中ひさや候補予定者の応援者カードへのご協力をお願いします！



シニアクラブは7月に行われる参議院選挙比例区JAM組織内田中ひさや候補予定者を応援しています。現在、田中ひさや応援者カードの活動をすすめています。皆さんの積極的なご協力をお願いします。

不正問題は他人事ではありません。

厚生労働省の不正統計が発覚し、問題となっています。私たち労働者のセーフティーネットである雇用保険、育児休業給付金、労災補償、雇用調整助成金などが少なく給付されてしまったんです。

早急に、不足額600億円が追加給付されることを望みます。この問題の解決には約200億円の事務経費がかかるようですが、その原資は私たち労働者や企業が支払った保険料です。私たち全員が、実は不正統計の被害者なんです。

統計というのは国の運営の成否をはかるうえで非常に重要な指標です。裁量労働制のときも問題になりましたが、近年は政府の統計に対する信用が失われています。私、田中ひさやは「働くみんなの代表」として、このような問題が再び起きぬよう、原因究明と再発防止を求め全力で取り組む所存です。みなさん、応援よろしくお願いいたします。

(表面続き) 国会答弁に対し「連合集計は労使交渉の結果のもので組織率からみて全体ではない。全体の底上げや波及に繋がっていない」と指摘した。これ

を受けて立憲の枝野代表、国民の玉木代表、社民の吉川幹事長は、各々の立場から国会での安倍首相の答弁と態度の酷さを指摘、「有権者の大きなうねりが力となる。政治決戦の年に退職者連合の皆さんの方力を貸してください

きたい」と挨拶した。

2019年度政府予算案と国会提出法案に

方を連合伊藤生活局長

に対する社会保障関係の要請行動を含めた今後の取り組み方針を満

## 参議院選挙比例区候補10人

全員の当選を勝ち取ろう

JAMは古田副室長が決意表明

2月13日、ホテル・ルポール麹町で午後6時から「政治を変える！」

2・13力合わせの集い」

が開かれた。

この集いには退職者連合加盟産別と関連する組織の事務局長、地方退職者連合事務局長、

役員など80人が参加。統一地方選と参議院選での退職者連合と連合が推薦する候補者全員の当選に向けて奮闘することを誓い合った。

集いでは比例区候補予定者の決意表明

が行われ、忙しい候補予定者本人に代わって各代理の者が支援を呼びかけ、退職者連合9ブロックの事務局長が地域における取り組みについて決意を述べた。

JAMからは古田政策実現室副室長が田中ひさや候補予定者のスターを手に力強い決意表明で会場からの大

きな拍手を受けた。

## 岐阜 第19回研修会を開催

### テーマは高齢者の健康管理について

傍島 征夫 通信員



JAM岐阜シニアクラブは「第19回研修会」をサンワード大垣会場で来賓のJAM東海小山昭久副執行委員長はじめ49名の参加を得て開催した。

はじめに、主催者代表の北村務会長が挨拶、来賓の小山副執行委員長より、JAM東海が進めていく働き方改革の取り組みや春闘、参議院議員比例区「田中ひさや候補予定者」への支援を「JAM岐阜

は冬に発生しやすく、特に幼児や高齢者に多い。ノロウイルスによる感染性胃腸炎が重篤化するケースもあり、この病気を防ぐには高齢の方はシーズン前に予防接種を受けることによって感染する可能性が減らせる。予防のためには手洗いやうがいを徹底し、十分な睡眠をとることで免疫力を高めることができると語った。さらにノロウイルスの予防にはカキやアサリといった

貝類は、加熱して食べれば良く、意識的にビタミンやタンパク質を摂取し、バランスの良い食事に心掛けることを教えて頂いた。

高齢者に多い病気の認知症、脳血管疾患、転倒、関節疾患、うつ病は個人差があり、日常生活に血圧と体重をはかりながら、自分の数値を掴み、適正値になつているかなど確かめておくことが必要とのこ

とでした。

シニアクラブ会員の皆様のご協力をお願いします」との挨拶を受けた。その後司会の長沢副会長より講演を頂く小嶋昭次郎先生を紹介し講演にはいつた。

はじめて大きく報道されているインフルエンザの予防についてふられた。インフルエンザは冬に発生しやすく、特に血圧の高低差が大きくなっている場合

に速やかにかかりつけの医師の診断を受け事なことは日常的に運動の機会をつくり、人ととの交流の輪を広めな

がら、自分の身は自分で守ることが、健康の秘訣であることを教えて頂いた。講師の小嶋昭次郎先生は、幼児から高齢者を診察されておられる経験から、詳

細に亘って話しされて頂いた。病で悩んでおられる方からの質問がだされた

ことことが出来た。など良い研修会を開催